

重要取組シート 産業振興局 産業戦略部 地域産業課

取組項目	商店街の活性化	
現状・課題	【現状】 ○郊外の大型店の展開や EC サイトの普及等により、地域の住民やコミュニティが商店街に求めるものは、「買物の場」から「多世代が共に暮らし、働き、交流する場」へと変化している。 ○新型コロナウイルス感染症による影響が長期化し、商店街等は売上減少などの影響を受けている。 ○一方で、新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行を見据えた商店街等の自主的な取組の再開・拡大や、円安のメリットを活かしたインバウンドの回復等が期待される。 【課題】 ○国における「地域の持続可能な発展に向けた政策の在り方研究会」の中間とりまとめによると、今後、商店街等は地域の住民やコミュニティが期待する多様なニーズに応える場として、「商店が集まる街」から「生活を支える街」へと変革することが必要とされている。 ○インバウンドを含む域外需要の取込みと、地域内経済循環の向上を図るためには、商店街等が自らの魅力・地域資源等を活かしながら、地域の稼ぐ力を向上させる必要がある。	
取組の内容	○商店街等が地域の住民やコミュニティのニーズに応えるために主体的に実施する地域活性化に資する各種ソフト事業や、地域の住民の利便性、快適性、安全性の向上に資する共同施設維持管理事業等の支援を行い、市内商店街の活性化を促進する。 ○万博開催やインバウンドの回復による国内外の旅行客を市内商店街に取り込むため、国や大阪府の事業と連携しながら、商店街等が実施する観光の視点を取り入れた事業の後押しを行う。	
スケジュール	前期 (～7 月)	☐ 商店街等が実施する取組等の支援を実施（随時） ☐ 国、大阪府等の関係機関と連携した支援を実施（随時）
	中期 (～11 月)	☐ 国、大阪府等の関係機関と連携した支援を実施（随時） ☐ 商店街等が実施する取組等の支援を実施（随時）
	後期 (～3 月)	☐ 国、大阪府等の関係機関と連携した支援を実施（随時） ☐ 商店街等が実施する取組等の支援を実施（随時）
	次年度以降	☐ 引き続き、商店街等が実施する取組等の支援を実施
進捗状況	前期 (～7 月)	☐ 商店街等が実施する取組等の支援を実施（随時） ☐ 国、大阪府等の関係機関と連携した支援を実施（随時）

(様式 4)

	中期 (～11 月)	☐ 国、大阪府等の関係機関と連携した支援を実施（随時） ☐ 商店街等が実施する取組等の支援を実施（随時）		
	後期 (～3 月)	☐ 国、大阪府等の関係機関と連携した支援を実施（随時） ☐ 商店街等が実施する取組等の支援を実施（随時）		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	4ー（4）成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出		
	寄与する KPI	—		目標値（2025 年度） —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 8	働きがいも 経済成長も	
	寄与する KPI	—		目標値（2023 年度） —